

豊かな自然と歴史のこころがつくる活力のあるまち

とえだ

広報

Soeda
Public
Relations



謹賀新年



JAN.2016

1

皆様の健康とご多幸をお祈りいたします。
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

No.651

年頭のごあいさつ 謹んで新春の お慶びを申し上げます



添田町長 寺西 明男

夫人は細川ガラシャで、小倉藩主時代に英彦山には多くの寄進をしています。ガラシャ夫人想いだっただ忠興公のものかどうか不明ですが、神と仏の時代に大日如来像の十字のクルスが発見されており、敬虔なクリスチャンであったガラシャ夫人と忠興公、そして英彦山の関連には、ロマンがあふれています。この十字のクルスは英彦山山伏資料館に展示されています。

「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群が世界遺産推薦候補に追加登録されました。世界遺産登録が待ち望まれます。ここには古事記による宗像三女神が祀られています。沖ノ島の沖津宮・田心姫神（たごりひめのかみ）、大島の中津宮・湍津姫神（たぎつひめのかみ）、辺津宮・市杵島姫神（いちきしまひめのかみ）ですが、それぞれの神社を結ぶと一直線上に位置し、三人の女神を固く結んでいます。この直線を陸上にずっと伸ばすと、なんと不思議なことに英彦山にたどりつきます。大島からは、英彦山の山脈がくっきり見えますし、この三女神は天照大神（あまてらすおおみかみ）の弟、須佐之男命（すさのおのみこと）の子どもであり、天照大神の御子である英彦山に祀られている天忍穂耳尊（あめのおしおおみみのみこと）とは、我々の庶民風に言えば「いとこ」にもなります。

明けましておめでとうございませす。新春を迎えいかがお過ごしでしょうか。今日あることに感謝し、新しい年を頑張ります。

2016年申年、人口減少による消滅自治体という指摘を皆さんと共に跳ね返し、楽しく安心して住み続けられる町にする第一歩の年としたいと思っています。今年もよろしく願います。

英彦山を国から重要な地域として認めてもらうため、国史跡指定に向け調査を行ってきました。その結果、レーザ解析により英彦山には800の坊舎があったことが確認されました。これまで言われていた三千人の山伏と八百坊という大きな集落、英彦山三千八百坊といわれる街だったことが立証されつつあります。英彦山・添田町の歴史の新たな1ページが紐解かれています。

今年、国指定重要文化財である英彦山神宮奉幣殿が細川忠興公によって建立されてから、四百年の節目の年です。英彦山神宮をはじめ、英彦山地区、そして添田町に再び脚光をあてようと、国から認定を受けた「歴史的風致維持向上計画」の推進や英彦山の国史跡指定に向け取り組んでいます。

また、添田町史の神話のページには、大国主命（おおくにぬしのみこと）が宗像三神をつれて出雲の国から彦山北岳に来て、二又、落合、増田（耕田）、副田（添田）を切り開いた。その後、天忍穂耳尊が彦山に天下ってきたので譲ったと書かれています。古来より浅からぬ因縁もあるのではないかと思います。

歴史が語る添田町、楽しく安心して生活し続けることのできるまちづくりを行っていきます。まちづくりは行政が全て出来るわけではありません。住民自らも頑張ってもらわなければなりません。これにも限界があります。しかし、住民の皆さんが手を携えて、そして町と一緒に進んで行けば、多くの課題に立ち向かい、解決することが出来るのではないかと思います。まさに、共助という考え方です。

歴史と文化が醸成された添田町、今年生まれる申年の子達が12年後に巡ってくる申年に、添田町に生まれて良かった、添田町で暮らして良かったと思えるまちづくりを皆さんと共に頑張る年にしたいと思っています。



沖ノ島

大島

宗像大社

英彦山

Photo：宗像市大島から英彦山山頂を望む

英彦山

【写真提供：宗像市大島 板矢英之さん】

日本全体を取り巻く急激な人口減少、少子高齢化という大きな課題を克服するため、平成26年11月にまち・ひと・しごと創生法が成立し、国は「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定。地方自治体でも地方版総合戦略の策定が努力義務として規定されました。

町でも「人口減少と地域経済縮小の克服」や「まち・ひと・しごとの創生と好循環の確立」を目指して、目標や施策に関する方向性、施策を総合的、複合的かつ計画的に実施するため「添田町人口ビジョン」と「添田町まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定しました。

問役場まちづくり課総合調整係（☎82-5965）

「まち」の活力を取り戻す 添田町創生3本の矢

「基本目標」

総合戦略

人口1万人
添田町創生

3を維持
本の矢

将来の人口1万人維持するため、3つの基本目標（3本の矢）を一体的に推進します

■3本の矢「3つの基本目標」の一体的な推進

3つの基本目標は互いに重なる分野があり、相乗しながら一体的に推進します。また、各基本目標の実現のため、プロモーション強化に努め、全ての産業の起業（創業）を支援します。

各基本目標における戦略ターゲットや進捗状況などの情報は役場職員全体で共有し、全庁的に取り組みます。また、各基本目標の実現のため、プロモーション強化に努めるとともに、全ての産業分野における起業（創業）を支援します。

■基本目標1

地域資源を生かした農林業の振興

- ①農林業の生産現場の強化
人材育成、後継者確保
- ②農林業の利益拡大
第6次産業化の推進、販路拡大
- ③農林産品のプロモーション強化

農林業
×
観光

■基本目標2

英彦山を核とした観光振興

- ①英彦山観光まちづくりの体制強化
人材育成、後継者確保
観光まちづくりの推進
受け入れ環境整備
- ②英彦山観光コンテンツの開発
観光の商品開発
- ③英彦山観光のプロモーション強化

観光
×
定住

農林業
×
定住

3本の矢
による
地方創生

■プロモーションの強化

- ①農林産品のプロモーション強化
- ②英彦山観光のプロモーション強化
- ③定住促進のプロモーション強化

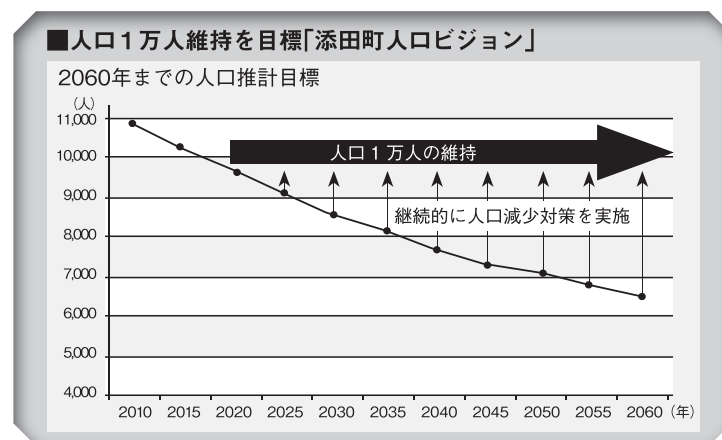
■起業の支援

すべての産業の起業（創業）支援

基本目標3

安心して住み続けられる定住促進

- ①移住し、町内で働く人の暮らし、働き場の支援
住環境の基盤整備
若者の交流と結婚へ向けた環境整備
- ②住み続けられる定住環境の推進
安心安全な子育て環境づくり、
健やかな成長のための教育環境づくり、
健康寿命の延伸と住み慣れた地域での生活継続
地域コミュニティの活性化



**1万人維持を目標
添田町人口ビジョン**

人口減少・少子高齢化への対策は、喫緊の課題です。町の調査では、若年層が福岡市や北九州などへ進学や就職することによって、転出者が転入者を上回る「社会減」となっています。また、添田町の合計特殊出生率は1・53と国（1・38）や県（1・44）を上回るものの、死亡数が出生数を上回る「自然減」に陥っています。

「添田町人口ビジョン」では今後、人口1万人維持を目標とします。

※一人の女性が一生に産む子供の平均数

住民・地域・行政が 一体となって、戦略策定

町は、寺西町長を本部長とする「添田町人口ビジョン・総合戦略策定本部」を設置。施策の検討や発案、町内外に対するアンケートによる意向・意識調査を実施しました。また産業や町議会議員、関係団体代表や公募委員からなる町政刷新まちづくり会議委員、教育、金融などの有識者で構成された添田町総合戦略策定推進会議を設置し、幅広い意見や提言がだされました。



↑幅広い意見がだされた添田町総合戦略策定推進会議

まち・ひと・しごと 地方創生とは

添田町まち・ひと・しごと創生総合戦略では、3つの基本目標「3本の矢」を策定しました。

第1の矢、基本目標の一つ目は「地域資源を生かした農林業の振興」です。農林業を強化し、都市圏住民の来訪を促したり、第6次産業を推進したりし、町内に安定した雇用場を創出します。また第2の矢、二つ目の基本目標は「英彦山を核とした観光振興」です。日本三大修験山である英彦山の歴史や文化、自然を核に観光振興を図ります。最後の第3の矢の基本目標は、地域の将来を担う若者や子育て世帯をはじめとした多世代の定住を促進し、町外への人口流出を防ぐ「安心して住み続けられる定住促進」となっています。この3つの基本目標は互いに重なる分野があり、相乗効果が期待されます。この3本の矢を強力に推し進めることで、添田町の地方創生を実現します。

英彦山総合調査報告会 国の史跡指定を目指す 英彦山三千八百坊

町では、平成22年度から5か年計画で英彦山総合調査を行っている。11月23日、オークホールで英彦山総合調査報告会が開催され、国の史跡指定に向けた調査の経過報告が行われました。

町では、平成22年度から5か年計画で民俗・歴史・古文書・美術工芸・考古・建造物の6部門において、国史跡指定を目指した英彦山総合調査を行っています。11月23日、オークホールで「ふるさと再生」英彦山総合調査報告会「英彦山の歩みとその魅力」と題して報告会が開かれ、会場に集まった皆さんは、英彦山の興味深い話に耳を傾けました。

西明男町長が「今回の調査成果を町全体として、まちづくりに活かして、次世代へ繋^{つな}げていきたい」とあいさつ。また、まちづくり課副課長の岩本教之学芸員が、英彦山を上空からレーザー測量した結果、建物跡と思われる約800か所の平地を確認し、最盛期に3千人の修験者が800の宿坊で暮らしていたことを意味する「英彦山三千八百坊」の言い伝えを裏付ける結果となったことを報告しました。

引き続き、8人の調査指導員による報告が行われ、最初に民俗部門の福岡大学教授・白川琢磨さんが「種まきと収穫の祭りが英彦山を含む北部九州一体で存続している」と英彦山信仰と民俗の関わりについて語りました。

歴史部門では、町文化、



題について言及。福岡市美術館長・錦織亮介さんは美術工芸部門で「近世に細川家など諸大名の支援で多くの文化財が所蔵されたが、明治初期の神仏分離で破壊されたり、山外へ流失したりした」と語りました。

財専門委員長の梶谷敏明さんが彦山流記から英彦山の歴史を年表にまとめ、神仏習合の権現信仰を報告。また元駒澤大学教授の長野覺さんが「山伏は命がけの荒行をこなしていた」と英彦山を中心とした山岳修験信仰を説明しました。

考古部門では、福岡大学教授の桃崎祐輔さんが英彦山に残る石造の修験遺跡などを報告。また、建造物部門の県文化財保護審議会専門委員・河上信行さんが英彦山神宮奉幣殿や銅鳥居などの特徴について説明しました。最後に「英彦山は日本を代表する修験道遺跡であり、国家的に保護されるべき。その第一歩が国の史跡指定である」と総括を務めた海の道むなかた館長・西谷正さんの言葉で、英彦山国史跡指定へ向けた調査報告会は幕を閉じました。

英彦山の国史跡指定へ 歴史と文化のまちづくり

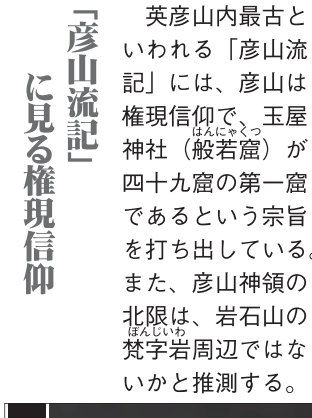


平成22年度から9回にわたり、西谷館長を委員長に調査指導委員会を開催し、史跡の内容確認調査とその結果に基づく歴史的確認、指定範囲の設定などを行ってきました。今回、その調査の内容を踏まえ、6部門で調査報告会を開催。会場には約250人が参加し、英彦山の歩みや魅力にじっと耳を傾け、客席からは「英彦山を国の史跡指定へ」と期待を込めた声があがっていました。



福岡大学人文学部 教授
白川 琢磨さん

北部九州では、旧暦の2月(種まき)と11月(収穫)の祭りが根強く残る。彦山周辺では、11月の収穫祭で「霜月卯の祭」が行われ、祭りの要素として大飯や大餅、大酒の特徴がある。これは、英彦山の山伏が修験力の誇示としてもたらしたのではないかと考える。



歴史部門
添田町文化財専門委員長
梶谷 敏明さん

「彦山流記」に見る権現信仰

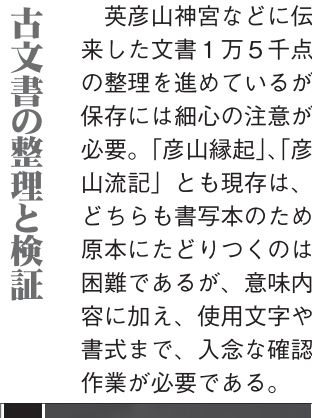
英彦山内最古といわれる「彦山流記」には、彦山は権現信仰で、玉屋神社(般若窟)が四十九窟の第一窟であるという宗旨を打ち出している。また、彦山神領の北限は、岩石山の梵字岩周辺ではないかと推測する。



元駒澤大学文学部 教授
長野 覺さん

英彦山(彦山)の歴史環境総括

明治以後、殺生などを禁じた山岳聖域は消滅したが、往時をしのぶ文化財が多く残る英彦山。古代から現代まで累積された最大規模の英彦山門前集落の聖地遺構は、レーザー測量による空中写真で知ることができる。



古文書部門
元北九州市立自然史・歴史博物館 参事
永尾 正剛さん

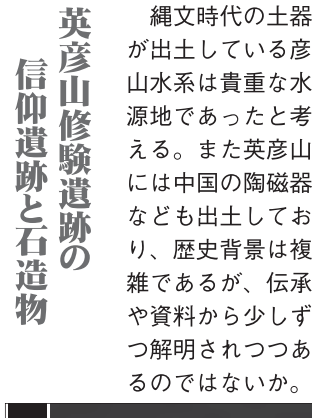
古文書の整理と検証

英彦山神宮などに伝来した文書1万5千点の整理を進めているが、保存には細心の注意が必要。「彦山縁起」、「彦山流記」とも現存は、どちらも書写本のため、原本にたどりつくのは困難であるが、意味内容に加え、使用文字や書式まで、入念な確認作業が必要である。



福岡市美術館 館長
錦織 亮介さん

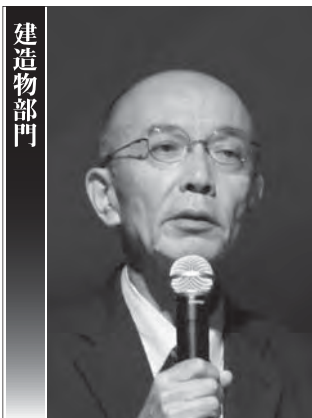
平安時代の彦山には、京都の天台寺院をしのぐ壮大な仏像や経蔵が供えられていた。これらは、大友の焼打ちにあり、焼失。その後、黒田家や細川家、小笠原家、鍋島家など諸大名の支援を受け、再び隆盛を迎えた。しかし、明治の神仏分離で破壊遺棄されたものが多い。



考古部門
福岡大学人文学部 教授
桃崎 祐輔さん

英彦山修験遺跡の信仰遺跡と石造物

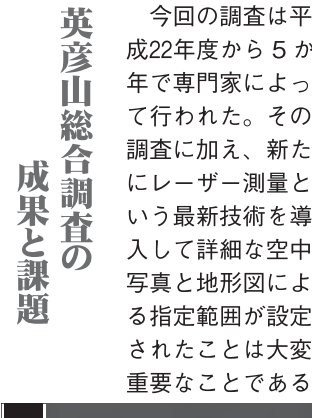
縄文時代の土器が出土している彦山水系は貴重な水源であったと考えられる。また英彦山には中国の陶磁器なども出土しており、歴史背景は複雑であるが、伝承や資料から少しずつ解明されつつあるのではないかと推測する。



福岡県文化財保護審議会専門委員
河上 信行さん

英彦山の建造物

英彦山は、宗教や政治・経済、地形、災害の影響をうけ独自の建築群を形成している。特に宗教では修験、天台宗、神道からなり、窟の社殿、本格的な大規模仏堂の奉幣殿、神仏習合の建物である上宮のほか、坊舎まで揃うなど全国的に希少価値が高い。



海の道むなかた館 館長
西谷 正さん

英彦山総合調査の成果と課題

今回の調査は平成22年度から5か年で専門家によって行われた。その調査に加え、新たにレーザー測量という最新技術を導入して詳細な空中写真と地形図による指定範囲が設定されたことは大変重要なことである。

November 11

- 1日／油木ダムを美しくする会清掃活動
- 1日／「三発目の原爆」原画展（～28日）
- 6日／金婚式
- 7日／第41回総合文化祭（～8日）
- 8日／英彦山男魂祭
- 8日／秋の火災予防訓練
- 10日／結核健診（～11日）
- 15日／添田町職員採用試験（2次試験）
- 16日／町道新城・赤村線道路改良工事に伴う老朽管布設替工事
- 20日／私が私らしく輝くためのセミナー第1回（全3回）
- 21日／特別列車「みのり号」
- 22日／スポーツの総合祭典市町村対抗駅伝
- 23日／ふるさと再生英彦山総合調査報告会～英彦山の歩みとその魅力～
- 23日／上津野「姫活祭」
- 29日／子ども会陸上記録会



December 12

- 3日／少年の主張大会
- 4日／子育て支援事業「おもちゃ選びのヒント伝えます」
- 8日／人権講演会
- 9日／第4回添田町議会定例会（～11日）
- 16日／新城赤村線舗装改築工事
- 17日／防犯・交通安全餅つき大会
- 19日／クリスマス☆フェスタ 2015 添田中学校吹奏楽部によるクリスマスロビーコンサート
- 25日／添田町フォトコンテスト表彰式
- 25日／少年アドベンチャー in 沖縄（～29日）
- 26日／児童館クラブ「餅つき大会」
- 29日／大南線道路改良工事

September 09

- 9日／第3回添田町議会定例会（～17日）
- 12日／おはなし会
- 12日／町立図書館朗読のつどい（全3回）
- 13日／第50回地区公民館対抗球技大会
- 20日／敬老会（～21日）
- 25日／秋の交通パレード
- 27日／英彦山サイクルタイムトライアル大会



- 27日／宝くじ公演打打打団天鼓和太鼓コンサート
- 30日／屋形原二又線道路改良工事

October 10

- 4日／町内一斉清掃「ごみゼロの日」
- 14日／学校図書館支援スタッフ養成講座「支援スタッフ研修会」
- 17日／総合健診（4日間）
- 18日／添田町職員採用試験（1次試験）
- 18日／県民文化祭ヴォーカルアンサンブル・フェスティバル
- 20日／添田町戦没者慰霊祭
- 21日／踏破鍛練「そえだ立志の道」（～23日）
- 24日／秋の防犯キャンペーン
- 24日／第28回ふる里まつり（～25日）
- 24日／JRウォーキング
- 25日／第25回岩石城まつり



- 28日／石切殿町線外舗装補修工事
- 28日／婦人がん検診

July 07

- 9日／第2回添田町議会定例会（～12日）
- 10日／学校図書館支援スタッフ養成講座「学校図書館の役割と読書の楽しさ」
- 15日／不動谷二号橋外橋梁改築工事
- 20日／児童館クラブ「茶道」
- 27日／わくわくイベント「ぱっくんパニック！」

July 07

- 14日／学校図書館支援スタッフ養成講座「子どもの心の成長と本」
- 23日／人権講演会
- 24日／児童館クラブ「外遊び・さんかくベース」
- 25日／第1回農業女子体験倶楽部（年6回）
- 26日／第54回子ども会球技大会
- 31日／北海道美深町教育交流受入事業（～8月3日）

August 08

- 1日／そえだ花火大会



- 1日／夏休み「子ども司書」体験（全2回）
- 1日／北海道美深町親善訪問受入事業（～2日）
- 2日／てんぐの里収穫祭（年2回）
- 4日／児童館クラブ「キラキラドーム」
- 5日／児童館クラブ「卓球」
- 8日／夏休みおはなし会
- 17日／田川飛翔塾（～21日）
- 18日／児童館クラブ「ガラスフォトフレーム」
- 22日／わくわくイベント「アイロンビーズ」
- 26日／学校図書館支援スタッフ養成講座「読書の楽しさを伝える学校図書館」
- 30日／東日本復興支援チャリティーコンサート in 田川
- 30日／添田町消防団ポンプ操法大会

2015 町のあゆみ

添田町では、2015年、たくさんの出来事がありました。皆さんにとってはどんな1年になったでしょうか。この1年の町の主な話題を振り返ってみます。



March 03

- 一般選挙
- 23日／狂犬病予防接種（～24日）
- 25日／木のおもちゃ広場インじどうかん

May 05

- 9日／添田神幸祭子ども山笠集結
- 9日／春の防犯キャンペーン
- 9日／子ども読書週間おはなし会
- 10日／てんぐの里植付祭（年2回）
- 14日／春の交通安全パレード
- 15日／林業専用道戸立・坂谷線開設工事
- 22日／子育て支援事業「コットンパールのアクセサリー作り」
- 23日／わくわくイベント「ブラバン工作」
- 30日／英彦山山開き前夜祭
- 31日／英彦山山開き山頂祭



- 31日／春の遠賀川一斉清掃

June 06

- 5日／総合健診（10日間）

March 03

- 1日／春の火災予防訓練
- 4日／そえだまち就農実践塾第1期卒業式
- 7日／語り継がれる伝統～魅力ある“まちづくり”の実現へ～
- 9日／第1回添田町議会定例会（～20日）
- 10日／布の絵本製作講座（全3回）
- 13日／林道吉祥寺線舗装工事
- 15日／町民バドミントン大会
- 19日／県道行橋・添田線老朽管布設替工事
- 26日／児童館クラブ「手話であそぼう！」
- 27日／道の駅歓遊舎ひこさん屋根修繕工事
- 28日／JRウォーキング
- 29日／添田公園桜まつり
- 30日／クアハウス温泉ポンプ改修工事
- 30日／寺脇線道路改良工事

April 04

- 5日／油木ダム桜ウォーキング大会



- 12日／福岡県知事選挙・福岡県議会議員

January 01

- 11日／添田町消防出初式



- 11日／成人式
- 13日／中山釜ヶ谷線災害防除工事
- 15日／添田中学校立志式
- 24日／児童館「凧作り」
- 24日／ふれあいスノーボード研修
- 25日／中村雅俊コンサート

February 02

- 7日／児童館クラブ「小さいお面と鈴作り」（全2回）
- 8日／少年の主張田川地区大会
- 8日／防災安全祈願祭
- 11日／第27回添田町たこあげ大会
- 13日／上伊原地区急傾斜地崩壊対策工事
- 14日／冬のおはなし会
- 20日／添田町青少年育成事業「人形ボードヴィル・ドラがやってくる！」
- 22日／第29回子どもまつり
- 28日／教育講演会

教育のひろば 「そえだドリームプロジェクト」

「夢や希望を持てるそえだの子ども」の育成を目指し、義務教育9年間で“基本的生活習慣”や“勤勉・忍耐力”そして“志を持つ”という目標を掲げるそえだドリームプロジェクト。10月には小学校5年生による踏破鍛練「そえだ立志の道」、12月には小学校6年生を対象にした「6年生交流会」を行いました。今月は、小学校4年生が「二分の一成人式」、中学校2年生による「立志式」を行い、子どもたちの将来の夢や希望に向けた頑張りを応援します。

中学校進学を前に、他校の児童と楽しく交流

6年生交流会

5小の6年生が集う

来年度から中学校という新たな環境で学ぶことになる6年生には、多くの期待や不安があることでしょう。その不安を少しでも解消するため、12月16日に添田小学校体育館で町内の5つの小学校（津野小学校・添田小学校・中元寺小学校・落合小学校・真木小学校）の6年生児童が集まり、交流会を開催しました。児童は、レクリエーションなどをおして、たくさんの友だちとの絆ができたようでした。



他校の児童と楽しくふれあった6年生交流会

中2の自分から未来の自分へメッセージ

立志式

キーワードは「志」

中学2年生が自分の思い描いた夢や希望に向かって努力していく決意を表明する立志式では、生徒が二十歳になった自分を思い描いて、自分へのメッセージを手紙形式で作成します。この手紙は6年後の成人式で本人に手渡される予定です。

●添田中学校立志式

- ▶とき 1月15日(金) 13:30～
- ▶ところ オークホール
- ▶内容 「二十歳のキミへ」(代表者による発表)

講演「命を見つめて

～瞳スーパーデラックス」

講師 猿渡 直美さん

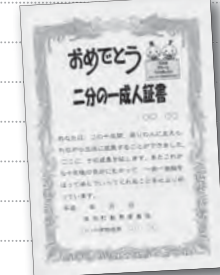
【講師紹介】

小学6年生で骨肉腫と診断され、余命半年と宣言されてからもその境遇を嘆かず必死に生き、13歳でこの世を去った猿渡瞳さん。母、猿渡直美さんは、娘の想いをより多くの人に届けると誓いました。皆さん、命がけのメッセージを聞いてみてください。

成長の証、10年後の成人に期待を込めて

二分の一成人式

成長の証と将来の夢



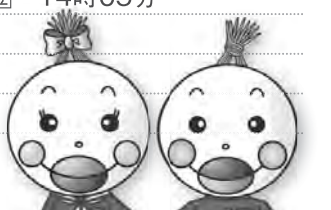
10歳の節目となる4年生が、今までの自分を振り返り、家族や友人への感謝の気持ちや将来の夢を発表。児童には、成長した証と成人となる10年後に期待を込めて、二分の一成人証書が贈られます。児童にとっては、

将来の夢や希望を実現するための意欲を持ち、またひとつ、成長する機会になるのではないのでしょうか。

●各学校の二分の一成人式の日程

- 添田小学校 1月22日(金) 13時45分～
- 中元寺小学校 1月22日(金) 14時00分～
- 落合小学校 1月22日(金) 13時55分～
- 真木小学校 1月22日(金) 13時30分～
- 津野小学校 1月29日(金) 14時05分～

「立志式」と「二分の一成人式」は、児童や生徒を応援してくれる人なら、どなたでも参加できます。ぜひ、会場へお越しください。



個性



添田中1年
平田 野々花さん



落合小6年
山下 閑さん

「言葉」



添田中2年
中畑 明穂さん

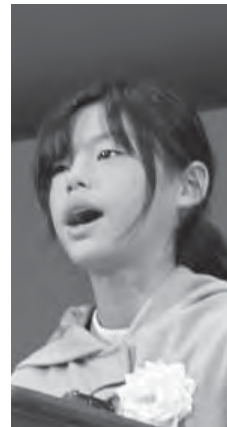


添田小6年
手島 みことさん

平田さんは、添田町代表として、2月14日に赤村で開催される田川地区大会に出場します。

この思い、声にのせて

12月3日、添田町少年の主張大会が、オークホールで行われました。地域のことや夢、差別問題などをテーマに、町内小・中学校の代表8人が壇上で力強く発表。子どもたちの心に響くメッセージに、会場からは惜しみない拍手が送られていました。審査の結果、添田中1年の平田野々花さんが最優秀賞に選ばれました。



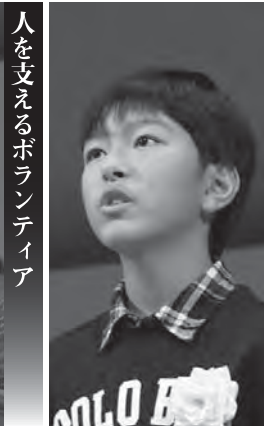
中元寺小6年
村井 伶圭さん



添田小5年
白石 凌也くん



真木小6年
稗田 舞さん



津野小6年
寺西 自然くん

人を支えるボランティア

ぼくの「ふるさと」

歴まちコラム vol 7～歴史と文化のふる里探訪～

田 役場まちづくり課文化財係 (☎ 82-5965)

中島家は、江戸時代から続く、多くの商店が建ち並んでいた町三行政区に位置し、江戸時代には植物の櫛からロウソクを造っていました。屋号を「綿屋」と称していた商家です。県内には寄棟屋根と切妻屋根を組み合わせた入母屋造り妻入の町家が数多く残っていますが、中島家住宅は切妻造りで、間口が広く、商家ながら農家に近い造りとなっているのが特徴です。



↑江戸時代の商家であった中島家住宅

主屋は屋根の鬼瓦に安政6年(1859)のへら書きが確認されたことから、この頃には建築されていたものと考えられます。主屋の奥(東側)には久留米出身の東森堂が大正期頃に作庭した岩石山を背景とする広大な庭園が広がっています。

【文・西山絃二学芸員(まちづくり課文化財係)】

●中島家住宅・旧数山家住宅
国指定重要文化財の民家
国指定重要文化財の民家は、福岡県に7件あり、そのうち筑豊地区に2件あります。本町の中島家住宅と津野の旧数山家住宅です。

中島家住宅は昭和52年に重要文化財に指定されました。中島家は小倉から日田に通じ、多くの商店が建ち並んでいた町三行政区に位置し、江戸時代には植物の櫛からロウソクを造っていました。屋号を「綿屋」と称していた商家です。県内には寄棟屋根と切妻屋根を組み合わせた入母屋造り妻入の町家が数多く残っていますが、中島家住宅は切妻造りで、間口が広く、商家ながら農家に近い造りとなっているのが特徴です。

旧数山家住宅は昭和53年に重要文化財に指定されました。数山家は英彦山神宮へ北九州方面からの参詣道最後の集落である上津野地区に位置しています。数山家の由緒は資料を欠いており、詳しいことは不明ですが、寛保2年(1742)の位牌が残っており、この当時、位牌を用いたのは裕福な家のみであったことを考えると、上層に属していたことが推測できます。



↑旧数山家住宅では、案山子がお出迎え



もっと速く、もっと遠くへ挑戦だ

子ども会陸上記録会

11月29日、そえだサン・スポーツランドで、子ども会の陸上記録会が行われました。今回は、立ち幅跳び、走り幅跳び、短距離走の3種目が行われ、町内の55人が参加。寒さを感じさせず、元気いっぱい体を動かしていました。また、一人ひとりに記録認定証が手渡され、友だち同士記録を見せ合い笑顔を見せていました。



↑記録を少しでも伸ばせるよう思い切りジャンプ

高校生と一緒に楽しく健康づくり

添田町元気倶楽部で職場体験

12月3日、庄地区集会場で元気倶楽部が行われ、職場体験の田川高校生も一緒に参加しました。ラジオ体操や新聞を丸めた棒を使って体をほぐす体操やゲームを楽しむ皆さん。参加した永野修身さんは「体操やゲームは高齢者向きで無理なくでき、体がほぐれ高校生と楽しい時間が過ごせました」と笑顔で語っていました。



↑先生の手本を見ながら体を伸ばす高齢者の皆さん

みんなで楽しくお餅をつきました

デイサービスオレンジで餅つき

デイサービスオレンジで、12月12日、餅つきが行われました。オレンジや関連施設から、利用者約25人が参加。職員と力を合わせて18キロ分のお餅をつきました。ついたお餅はみんなで丸め、きな粉餅や酢餅、あんこ餅などに調理し食べました。利用者は「お餅が大好きで、とってもおいしいです」と笑顔で話していました。



↑職員と協力して餅つきを楽しむ利用者の皆さん

丹精込めて作った弁当の味は格別

添田中学校弁当の日

11月15日、添田中学校で生徒が自分で作った弁当を持参する弁当の日が行われました。これまで家庭科の時間に食育について、講演を聞いたり、調理実習をしたりして学んできた生徒たち。力作の弁当を食べた生徒たちは「前日から準備するなど大変だったけど、上手くできた。自分で作った弁当は格別」と語っていました。



↑4時間かけた力作を持参する生徒もいた弁当の日

みんなが気になる、大切なお金の話

男女共同参画セミナー

11月27日、オークホールで、ファイナンシャルプランナーの鶴田明子さんを講師に迎え、男女共同参画セミナーが行われました。鶴田さんは「長い人生です。良い家族関係を維持しつつ、人生設計をしましょう。お金の話を子どもとほとんどしない家庭が多いですが、きちんと話して、向き合いましょう」と話していました。



↑養育費、年金、保険…いくら掛かるでしょうか

人権とは権利とは何か考えました

人権講演会

人権擁護啓発強調月間中の12月8日、オークホールで人権講演会が行われ、学校教員で落語家の川崎亭好朝さんと、人間科学博士の阿久澤麻理子さんが講師として登壇しました。好朝さんは、学校での授業風景を題材に「みんな違ってみんな良い」と語り、阿久澤さんは「人権とは何か。私たちにはどんな権利があるか」と来場者に投げかけていました。



↑川崎亭好朝さん①阿久澤麻理子さん②

↓「好きな野球選手は同じ左腕のソフトバンクホークスの森福投手」と語る原田さん



来季の目標は全日本選手権優勝

添田中2年の原田さんが野球で大活躍

添田中学校2年生の原田大樹さんが所属する中学生硬式野球チーム「田川ホークス」が九州連盟秋季リーグ戦に2チームに分かれて出場し、見事優勝と準優勝を飾りました。チームでキャプテンを務める左投げエースピッチャーの原田さんは、このリーグ戦で最優秀選手賞を受賞する活躍。11月29日に兵庫県で行われた関西連盟選抜チームとの親善試合に九州選抜チームのメンバーにピッチャーとして出場しました。また、秋季リーグ戦優勝の田川ホークスは12月5日、6日に沖縄県で開催された第5回全日本コルト選手権大会に出場、3位を獲得しました。12月14日に寺西町長を訪問し、激励を受けた原田さんは「来季の目標は全日本選手権優勝です」と力強く意気込みを語っていました。

これからも地域で守る今川の清流

今川流域市町村連絡協議会植樹

今川流域4市町村で、河川環境の保全などを通して地域活性化に取り組む今川流域市町村連絡協議会（会長・寺西明男町長）が11月22日、赤村の源じいの森で記念植樹を行いました。今川環境保護や美化を目的に昨年度の油木ダム周辺に続き、2回目となる今回の記念植樹には、寺西町長や春本武男赤村長をはじめ、流域の関係団体など約50人が参加。雨水を良質な地下水に浄化する効果があるイロハモミジ10本とトウカエデ15本を今川の清流が後世まで続くように願いを込め植えました。



↑協議会会長の寺西町長らによる記念植樹

↓今川の清流を未来につなげるため、子どもたちもスコップを手に植樹しました



↓防犯や交通安全、暴力追放などを決意。安心で安全な町を願い餅をつきました



暴力追放、安心・安全なまちづくり

防犯交通安全もちつき・暴力追放住民総決起大会

この冬一番の寒さとなった12月17日、防犯交通安全もちつき・暴力追放住民総決起大会が役場前駐車場で行われました。田川警察署や消防団、交通安全協会など約150人が参加し、2.5俵の紅白餅をつきあげて、参加者に振る舞ったり、町内の保育園や小中学校に配ったりしました。また、町内小学生から募集した防犯ポスターの表彰式なども行われ、寺西町長が「安全・安心なまちづくりに取り組みたい」と力強くあいさつ。暴力追放宣言とシュプレヒコールを唱え、意識の向上を図りました。



↑防犯ポスターコンクール入賞者たち

1月生まれ HAPPY BIRTHDAY

♥3歳までのお子さん募集中です！2月生まれは1月15日☎
までに持参またはEメール（koudojyohou@town.soeda.
fukuoka.jp）で送信してください。

☎ 役場情報広報課広報係（☎ 88-8444）



らいと
船橋 頼人 ちゃん
1月15日生 ②・庄上

もうすぐおにちゃんですね♪い
つもみんなを笑顔にしてくれてあ
りがとう♡パパとママの所に産ま
れてきてくれてありがとう♡



あかね
宮崎 彩光 ちゃん
1月21日生 ①・野田

1歳のお誕生日おめでとう！あか
ねちゃんのニコリ笑顔にパパと
ママはパワーをもらっています。
ありがとう！これからも元気にい
っぱい遊んで大きくなってね。



みこと
森田 美琴音 ちゃん
1月23日生 ②・新城

2歳のお誕生日おめでとう！こ
れからも笑顔の素敵なみこちゃ
んでいて下さいね。
パパとママより



ひいと
藤井 熱斗 ちゃん
1月23日生 ①・峰地団地

ひいちゃんお誕生日おめでとう。
あっという間の一年、病気しなが
らも元気にすくすく育ってます♡
これからも笑顔で皆を癒してね♡
ひいちゃんのことが大好きな皆より



まちかど特派員投稿

地域みんなでウォーキング!! 町三公民館主催第2回歩こう会 町三公民館からの投稿です



↑焼き物の町、小石原地区を散策、約8,000歩を歩きました

11月22日、町三公民館（清水正義館長）行事
として、第2回「歩こう会」が行われました。今
回は、20人が参加し、国指定重要文化財中島家
住宅に集合。添田公園でゴミ拾いをした後、東
峰村にバスで出発しました。小石原の行者杉入
口で下車し、きれいな空気を吸いながら森の中
を散策。皿山地区では、きれいに敷きつめられ
た石畳の上を歩きながら、窯元をめぐりました。
途中、展示場や資料館などにも立ち寄り、伝統
工芸品である小石原焼の素晴らしさを堪能した
皆さん。参加者は、町三行政区住民の交流や親
睦を深めることができました。また、東峰村の
皆さんの温かさにも触れることができ、とても
充実した約8,000歩の「歩こう会」となりました。

農業女子も参加、実りの喜びを体験

添田町農業青年会主催・てんぐの里収穫祭



↑お釜で炊かれたアツアツの炊
き込みご飯をいただきます♪
みずみずしく立派に実った冬野
菜を収穫する参加者の皆さん

添田町農業青年会（尾形吉則会長）主催のてんぐの
里収穫祭が12月13日、道の駅歓遊舎ひこさん横の体
験農園で行われました。今回は、町内で楽しく野菜
づくりなどを体験することで、女性に町や農業の魅
力を知ってもらふ添田町農業女子体験倶楽部の皆さんも一緒に参加。農業青年会のメンバーから丁寧に
教わりながら、9月に植えつけた大根や白菜、キャ
ベツ、小松菜、ブロッコリーなど、みずみずしく立
派に育った冬野菜を次から次へと収穫していました。
収穫後には、添田産のお米やゴボウ、人参、シタ
ケなどがたくさん入った炊き込みご飯が振る舞われ、
参加者の皆さんは、お釜で炊いたほかほかのご飯を
味わいながら、収穫の喜びを語り合っていました。

まちのホットNews

身近な税を知る、添田中3人が入賞

「税の標語」と「中学生の税についての作文」

田川間税会による「税の標語」募集で添田中学校1
年生の時津太樹さんが会長賞、1年生の岩崎菜月さん
が税務署長賞を受賞しました。応募総数738点から選
ばれた時津さんの標語は「税金ですみよくらし街づ
くり」、岩崎さんの標語は「ありがとういつもの暮らし
に消費税」と税の大切さを短い言葉に詰め込みました。
また、添田中学校2年生の石谷碧里さんが、全国納税
貯蓄組合連合会・国税庁主催の「中学生の税について
の作文」で応募総数525点の中から優秀賞に輝き、田
川税務署から表彰を受けました。生活に身近な税を考
えた標語と作文で添田中から見事、3人が受賞しました。



→税の標語で受賞した添田中1年
の時津太樹さんと岩崎菜月さん



←税についての作文で優秀賞を受
賞した添田中2年の石谷碧里さん

文芸歳時記

【川柳 添田番傘川柳会】

敬老の祝われる座の味知らず
胸張って歩こう背丸くなる
人ごとでない同年の紙オムツ
健康の尺度散歩が日々のにび
初孫を抱いて嬉しい宮参り

【俳句 添田福寿句会】

風向きのまま立ち枯れし芒原
風景の一望千里冬日かな
夢一つある愉しみや日向ぼこ
暮早し何とはなしに一日暮れ

【俳句 天籟通信添田句会 大池青湖選】

どの風も表裏ありそぞろ寒
亡き人をしのぶすがや文化の日
石路咲いて千に三つの当り籤
車椅子押してふたりの秋夕焼
竹を切る鈍音ひびく神無月
ゆく秋や女が結ぶ紐のいろ

【短歌 春扇短歌会 筑紫支社】

霜月の西空今日も晴れゆきて
入り陽さし入り緑あたたかし

狭庭辺に白き水仙咲き初めて

八重も黄色も日毎咲き継ぐ
掘り立ての里芋どっさり豚汁に

味も良し食も進みぬ
訪れし庭に柿の実たわわにて

秋風に揺れ過ぎし日思ふ

【俳句 投稿】

大漁旗を掲げて祝ふ初日の出
言葉に惹かれ句を読む冬灯下

●俳句・川柳を募集します

2月号掲載希望は1月15日☎までに連絡してください。

☎ 役場情報広報課広報係（☎ 88-8444）



募集

福岡県公共職業訓練 訓練生募集

4月期の入校生を募集します。

▼選考日 3月18日【金】

▼募集科

【田川校】電気工事科、自動車整備科、木工家具科、左官科、OA事務科

【小竹校】プログラム設計科、

自動車整備科、機械科、建築科、塗装科、ものづくり鉄工科、介護サービス科

▼募集期間 1月4日【月】～3月11日【金】

※詳しくは問い合わせください。
 福岡県立田川高等技術専門学校
 （☎44―1676）

福岡県立小竹高等技術専門学校
 （☎09496―2―6441）

福岡県立直方特別支援学校 幼稚部入学者募集

聴覚に障がいのある幼児の入学者を募集します。

▼選考日時 2月19日【金】10時～

▼対象者 平成22年4月2日～平成25年4月1日に生まれた視覚に障がいのある幼児

▼募集期間 2月2日【火】～9日【火】 9時～16時（受付締切日）

は正午まで）

※詳しくは問い合わせください。

福岡県立直方特別支援学校聴覚障害教育部門

（☎0949―24―5570）

福岡県立北九州 視覚特別支援学校生徒募集

▼入学検査 【幼稚部】2月19日【金】【高等部】3月4日【金】

▼対象者 【幼稚部】平成24年4月2日～平成25年4月1日に生まれた視覚に障がいのある幼児

【高等部専攻科理療科】あんま

マッサージ指

圧師、はり師、

きゅう師の国

家資格取得を



農業・林業

農業委員選挙人名簿登録は 申請不要となります

平成27年9月4日に農業協同組合法等の一部を改正する等の

税金と保育料のあれこれ

納期限が過ぎました 納め忘れはありませんか

町県民税・固定資産税・軽自動車税の 納め忘れはありませんか

町県民税・固定資産税・軽自動車税の各納期限が過ぎました。納め忘れのある場合は、早急に役場会計窓口、または町指定金融機関で納めてください。

住民課税務・滞納対策係では、滞納者に対して、滞納処分（預金の差し押さえ等）などの厳しい対応を行っています。

納付にあたり、納付書を紛失した場合は、税務係まで問い合わせください。

福岡 役場住民課税務係・滞納対策係
（☎82-1234）

保育料を滞納すると 児童手当から徴収されます

児童手当法では、児童手当から受給者の申し出を必要としない「保育料の特別徴収」が可能となっています。

特別徴収とは、児童手当受給者と保育料の支払い義務者が同一であり、特別な事由なく滞納が続いた場合に、町が受給者の申し出の有無に関係なく児童手当支給の際に、その手当から現年の保育料を徴収できるというものです。

特別な事由などで保育料の支払いが困難な場合は、必ず相談してください。

福岡 役場保健福祉環境課子育て支援係
（☎82-1232）



緊急時あわてずあせらず 110 番

1月10日は 110番の日です

◎110番は、事件事故の緊急通報専用番号です

急を要しない相談などの110番は、1分1秒を争う緊急な事件事故への対応を遅らせる原因となります。相談ごとなどは、（☎＃9110）をお願いします。

◎県内からの110番は警察本部の通信指令室につながります

警察官が必要なことを質問します。落ち着いてはっきり答えてください。地番を確認して知らせましょう。わからないときは、交差点名や電柱番号などを知らせましょう。

◎街頭キャンペーンを行います

▶とき 1月8日【金】 11時
▶ところ 歓遊舎ひこさん

福岡 田川警察署地域課（☎42-0110）



一部区間 路線変更

期間 12月31日・1月1日～3日 町バス年末年始のお知らせ



期間中は別所駐車場から神宮下への乗り入れを運休します。

【豊前坊行き】

別所駐車場 → ひこさんホテル入口

【JR 彦山駅行き】

ひこさんホテル入口 → 別所駐車場

福岡 添田町バス（☎82-5580）

法律が公布されたことに伴い、農業委員会等に関する法律に規定する農業委員会の委員の公選制が廃止されることになりました。このため、農業委員会委員選挙人名簿登録申請書（毎年1月提出）は、平成28年から提出する必要はありません。

福岡 添田町農業委員会

（☎82―1237）

添田町選挙管理委員会

（☎82―1231）

鉄道沿線の 森林管理は適切に

平成26年2月13日、大分県田市の久大本線天ヶ瀬駅・杉河内駅間において、雪害による倒

木に列車が衝突し

たのち脱線し、乗

客が負傷する事故

が発生しています。

森林の所有者と管

理者の皆さまは、

鉄道沿線での適切

な森林管理にご配

慮をお願いします。

福岡 役場地域産業推進課

林業振興係（☎82―5962）



相談

無料調停相談会

▼とき 2月14日【月】9時～15時

▼ところ 福岡町役場

▼内容 夫婦間のもめごとなどの家庭内の問題、不動産や債

権債務・交通事故などをめぐるトラブル

など、家事

および民事

の紛争につ

いて、解決

手段のひとつとしての

調停制度（話し合いによる円

満解決）利用に関する無料相

談を行います

▼相談員 裁判所から任命を受

けた民事調停委員または家事

調停委員

※予約不要。当日直接会場にお



越してください。

福岡 田川調停協会（☎42―0163）

住宅に関する無料相談

宅地・建物の取得、相続・贈

与などの登記、

税金、新築・

増改築の計画

など住宅関連

の相談に幅広

く応じます。

▼とき 1月26日【火】10時～15時

▼ところ 田川市役所1階

▼相談員 司法書士、税理士、

建築士

▼相談方法 面談（予約者優先）

福岡 田川市住宅管理公社

（☎44―9888）



学生の猶予や免除制度もあります

新成人の皆さんは忘れずに 国民年金加入手続き



20歳になる誕生月に日本年金機構から、国民年金の加入手続きの通知が届きます。必要事項を記入して、役場住民課保険年金係へ提出してください。後日、年金手帳と国民年金保険料納付案内書が送付されます。年金手帳は生涯使用しますので、大切に保管してください。

なお、国民年金保険料の納付が困難な場合は、加入手続きと同時に「学生納付特例」や「保険料免除・一部納付（免除）制度」の申請手続きをおすすめします。申請を行わないまま保険料が未納になっていると、将来の年金額が減ったり、万一のときに障害年金が受け取れないなど思わぬ事態を招きますので、ご注意ください。

◎学生納付特例制度

学生本人の前年所得が118万円以下の場合、20歳誕生月から翌年3月まで保険料納付が猶予されます。

▶申請に必要なもの

▷年金手帳 ▷印鑑（本人署名の場合は不要）
▷学生証（コピー可）または在学証明

◎保険料免除・一部納付（免除）制度

「申請者本人」や「申請者の配偶者」などの前年所得などが定められた基準に該当することが必要です。

▶申請に必要なもの

▷年金手帳または納付書などの基礎年金番号のわかるもの ▷印鑑

※失業を理由にするときは、雇用保険被保険者離職票や雇用保険受給資格者証（いずれもコピー可）なども必要です。

福岡 役場住民課保険年金係（☎82-5966）
直方年金事務所（☎0949-22-0891）

子育て・就職

子育て女性のための合同会社説明会・就職支援セミナー

求人企業からの説明や、仕事探しに役立つセミナーを行います。託児あり、履歴書・スーツなどは不要です。



▼とき 1月19日(火)10時～14時

▼ところ 直方市中央公民館

(直方市)

▼内容 ▼就職支援セミナー(講演会、好感度アップ講座、ビジネスマナー) ▼子育て女性のための合同会社説明会

▼参加費 無料

▼託児 先着順20人(要予約)

福岡県子育て女性就職支援センター

(☎0948-22-1681)

福祉のしごと就職フェア

▼とき 2月6日(土)11時30分～

▼ところ クローバープラザ

(春日市)

▼対象者 社会福祉施設などへの就職希望者、平成28年3月

添田町たこあげ大会

●とき 2月11日(祝) 13時～
●ところ そえだサン・スポーツランド
●参加資格 個人・団体ともに自作のたこに限る(町内外は問いません)
※受付は、当日会場で行います。
☎ 教育委員会生涯教育係 (☎ 82-5964)



人の動き

11月末日現在 ()は前月比

- 人口 10,551人(－7人)
- 出生 5人
- 男性 4,962人(－4人)
- 死亡 11人
- 女性 5,589人(－3人)
- 転入 15人
- 世帯数 4,857世帯(－1世帯)
- 転出 16人

相談

- 心配ごと相談 (そえだジョイ／10時～15時) 1月19日(火)・2月2日(火)
 - 補聴器相談 (役場ロビー) 1月8日(金)(15時～)／13日(火)(13時～)
 - 女性の健康相談・不妊相談 (福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所／要予約) 2月3日(火)(13時30分～16時30分)
- ☎ 福岡県嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所健康増進課健康増進係 (☎ 0948-29-0277)

事件事故発生状況

11月の事件発生状況 ()内は昨年同月比		
種類	発生件数	今年の累計
自動車盗・オートバイ盗	0(±0)	0(－1)
性犯罪	0(±0)	2(+1)
車上ねらい	0(－1)	3(±0)
空き巣・忍び込みなど	0(－1)	8(－11)
11月の事故発生状況 ()内は昨年同月比		
種類	発生件数	今年の累計
事故発生(物件+人身)	24(+11)	161(+24)
死亡者	0(±0)	0(±0)
負傷者	6(+2)	37(+6)

- このまちのこと、伝えてみませんか
 - 「まちかど特派員」募集
 - ◆応募資格 町内に住所を有する18歳以上の人で特派員として公共的、中立的な観点で活動できる人
 - ◆活動内容 住民目線で取材を行い、その内容を広報そえだに掲載します
 - ◆謝礼 掲載1点につき、千円分の商品券
 - ◆申し込み方法 情報広報課で配布の応募申込書に必要事項を記入して、持参または郵送で提出してください
- ☎ 役場情報広報課広報係 (☎ 88-8444)

- ◆編集後記
- ▶新年あけましておめでとうございます。今年も広報そえだをよろしくお願ひします。今月号では職場体験の高校生が取材に同行し、写真を撮って、記事を書いています。(P13・元気倶楽部)笑顔がはじける明るい高校生に元気をわけてもらいました。(小林)
- ▶明けましておめでとうございます。平成27年は、兄の結婚や愛犬の旅立ちなど、笑ったり泣いたり忙しい1年でした。最近念願のカーナビが手に入ったので、今年は県外に進出したいと思います。(水上)

末の大学・専門学校などの卒業予定者、無資格・未経験の人も可

▼内容 「自分に合う職場の見つけ方」をテーマにした就活応援セミナーや、165ブース参加予定の就職面談会。その他福祉の仕事・資格についての相談コーナーなど

※参加無料、予約不要、入退場自由、託児あり。

☎ 社会福祉法人福岡県社会福祉協議会 (☎ 092-584-3310)

母子・父子家庭就業相談、離婚協議に関する相談など

【母子・父子家庭就業支援相談】

母子家庭のお母さん、父子家庭のお父さん(いずれも児童扶養手当受給者)を対象にハローワークと連携して就業支援事業を実施しています。

▼相談日等 要予約。平日は対象者が居住している役場等に

出向き(9時～17時)、日曜は春日市のクローバープラザで相談を行います(9時～16時)

【養育費に関する電話相談】

専門相談員が養育費に関する電話相談を実施しています。

▼とき 平日9時～16時

▼対象者 母子・父子家庭または離婚協議中の人

【弁護士による無料法律相談】
弁護士が養育費など生活上の問題に関して無料相談を実施しています。

▼とき 1月20日(火)13時～15時

▼ところ 福岡県飯塚総合庁舎(飯塚市)

▼対象者 母子・父子家庭または離婚協議中の人

▼定員 4人／要予約

※相談時間は先着順1人30分。

☎ 福岡県ひとり親家庭等就業・自立支援センター(飯塚市) (☎ 0948-21-0390)

お知らせ

風致計画進捗状況報告会と歴史文化財講座を開催



町では、町内に残る歴史文化遺産を守るとともに、それらを活用したまちづくりを行うため「添田町歴史的風致維持向上計画」を策定し、平成26年6月23日に認定を受けまし

26日(火)(全3日間)10時～12時

▼ところ 町立図書館・児童館集会所

▼講師 虹の会

▼定員 先着10人(原則全回出席できる人)

▼参加費 1千500円程度(3回分)

▼持参物 筆記用具、ものさし、裁縫道具

▼申し込み期限 1月10日(日)

☎ 町立図書館 (☎ 82-4800)



火の用心 火災に注意しましょう

コンセントにほこりを溜めたまましていると、発火する場合があります。定期的に掃除をしま

- しょう。また、火災からあなたを守る「住宅用火災警報器」を設置しましょう。
 - ☎ 田川消防本部予防課 (☎ 44-6256)
 - I LOVE 遠賀川流域リーダーサミット
 - 遠賀川の恵みを再認識し、ふるさとの川を誇りましょう。
 - ▼とき 1月24日(日) 13時30分
 - ▼ところ なかまハーモニーホール(中間市)
 - ▼参加費 無料
- ☎ 国土交通省遠賀川河川事務所 (☎ 0949-22-1830)



ありがとうございました (敬称略)

○添田町社会福祉協議会へ
▼香典返し ▼前田豊喜(下津野) ▼松田博行(下落合) ▼若林千代子(町一) ▼田邊重三(埼玉県)

○特別養護老人ホームそえだへ

▼慰問 ▼赤間徳夫(岩瀬) ▼高橋浩月(町四) ▼三笠流添田ひまわり会

(平成27年12月14日現在)



平成28年度 保育園 園児募集

- 募集期間 1月18日(火)～1月29日(金)
- 入園要件 保護者が次のいずれかに該当
- ①昼間常に家庭の外で働いている、またはパートタイム、夜間、居宅内などで働いている(月48時間以上)
- ※月48時間以上の就労条件は平成27年以降新規入園の人のみ対象。
- ②妊娠中または出産後間もない
- ③保護者が病気にかかったり負傷したり、または精神や身体に障害がある
- ④長期にわたり病気の状態にあるか精神や身体に障害がある同居の親族を常に介護している
- ⑤震災や風水害、火災などの災害の復旧にあたっている
- ⑥求職活動中(起業準備を含む)

- ⑦就学中である(職業訓練を含む)
 - ⑧虐待やDVのおそれがある
 - ⑨育児休業取得中にすでに保育を利用している子どもがいて、継続利用が必要
 - ⑩その他、上記以外に町長が認める場合
- ※現在入所している児童についても、保育園へ入所申し込みが必要です。
- ※新規申し込みは、役場保健福祉環境課子育て支援係へお願いします。

保育園名	定員	電話番号
ひかり保育園(津野)	30人	☎ 84-2171
たから保育園(中元寺)	30人	☎ 82-4576
くるみ保育園(落合)	45人	☎ 85-0374
みどり保育園(庄)	45人	☎ 82-0605
聖光保育園(添田)	90人	☎ 82-0257
真木保育園(真木)	116人	☎ 73-3216

☎ 保健福祉環境課子育て支援係 (☎ 82-1232)



新年明けましておめでとうございませう。平成二十八年の年頭に当たり、添田町議会を代表いたしまして、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

町民の皆様には、希望に満ちた輝かしい新春をお健やかに迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、日頃より町政の発展と議会運営に対し、温かいご支援とご協力を賜り、深く感謝申し上げます。

本町は厳しい財政状況の下、人口減少に伴う過疎化や少子高齢化、あるいは基幹産業であります、農林業における後継者不足や耕作放棄地の増加、有害鳥獣による被害といったさまざまな課題を抱えております。

こうした中、地方分権の進展

年頭のあいさつ

迎春



添田町議会議長 田中 正

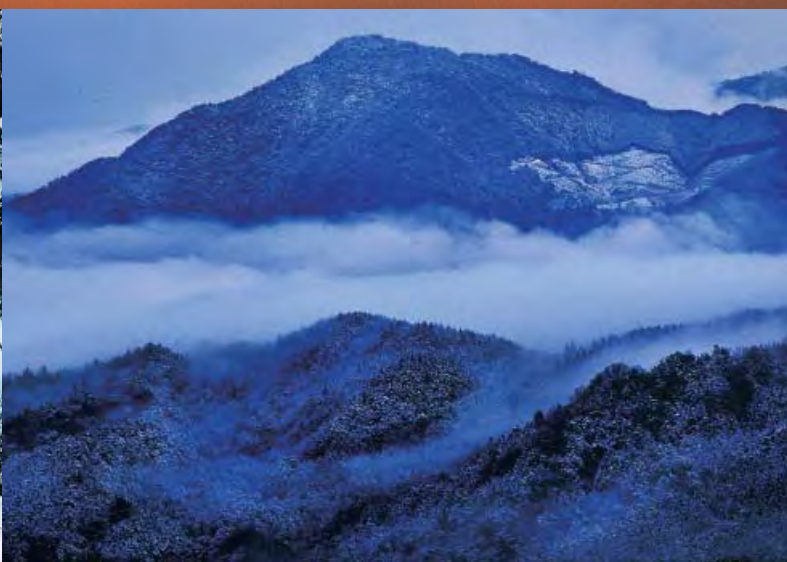
に伴い、一層大きな役割を担うことになる町議会が、活発な論戦を通して審議の活性化を図り、政策立案機能の強化に努め、

町民の皆様への負託に応えるべく全力を尽くしていかねばならないと考えております。

平成二十八年を迎えるにあたり、私ども議員一同、本町のさらなる発展を目指し、町民の皆様にとって、よりわかりやすく開かれた議会となるよう鋭意努力してまいります。いと存じますので、町民の皆様からのより一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

の新しい年が皆様にとって実り多い年になりますことを祈念申し上げます。念頭のあいさつとさせていただきます。

終わりに、こ



◇発行／添田町 ◇編集／情報広報課
〒824-0691 福岡県田川郡添田町大字添田 2151 番地
☎0947-82-1231 光電話 050-6621-4309 FAX0947-82-2869
ホームページ <http://www.town.soeda.fukuoka.jp>